

3月定例報告

市長総括説明から

2月28日、平成26年第1回市議会定例会が開会しました。平成26年度のまちづくりの所信を述べ、提出議案を説明しましたので、その概要をお知らせします。

所信

「足元を固め、小さな世界都市の実現に向けて、突き抜ける」。コミュニティ崩壊の危機への対応を強化しつつ、海外への情報発信、受入れ態勢の充実を図ります。

安全に安心して

喜らせるまち

円山川緊急治水対策事業・稲葉川土地区画整理事業の推進、大規模建築物の耐震診断費の補助、一般住宅の耐震改修の促進、新田小学校等の耐震補強・改修工事を行います。地域防災計画の改定、防犯カメラの豊岡駅周辺への設置・地域団体への設置補助をします。

健康ポイント制度等を継続

し、健康クラウドを活用した健康まちづくり施策の検討・評価等を行います。

第4期障害福祉計画及び老人福祉計画・第6期介護保険事業計画を策定します。

発達や成長、子育てなどに不安のある5歳児に対する、専門職による発達相談等を実施します。

人と自然が共生するまち

環境経済戦略の推進、循環型まちづくりを進めます。

「コウノトリ野生復帰検証事業」を進め、成果を「第5回コウノトリ未来・国際かいぎ」、「生物多様性条約第12回締約国会議」(韓国)につなげます。「加陽湿地拠点整備・管理計画」の基本設計に着手します。

森林の植生回復拠点を整備する「ノアの方舟作戦」を展開します。

持続可能な「力」を

高めるまち

豊岡エキシビジョンの開催(東京)などで豊岡の知名度アップを図るほか、豊岡ブランド認知度調査を実施します。今秋の世界ジオパークネットワーク認定更新に向けて、

山陰海岸ジオパークの案内表示の充実等を図ります。

豊岡農業スクールや青年就農給付金等の支援による青年の就農意欲の喚起、就農の定着を図るとともに、有害鳥獣対策に取り組みます。

兵庫県畜産共進会の誘致、万場スキー場ゲレンデでの但馬牛放牧への補助により、但馬牛のPR・品質向上、畜産農家の省力化を進めます。

間伐材の、木質バイオマス事業への利用を推進し、森林里山林整備に対する補助を行います。

漁業経営セーフティネット構築事業の加入者への補助、田結漁港の浚渫等を行います。

中小企業への融資、奨励金などの特産業の振興、奨励金制度による起業支援、中心市街地の活性化を推進します。企業誘致、ものづくり企業等への支援、環境経済事業拡大に取り組みます。

道路・橋梁の補修など、住環境整備を行います。

未来を拓く人を育むまち

「豊岡市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。保育の量的拡大、バイリンガ

ル保育の導入を行います。

八条放課後児童クラブの施設を旧自動車教習所の場所に新設します。

人生を楽しむ

お互いを支え合うまち

世界各地で活躍する音楽家や名匠の手で製作された楽器などとの出会い、感性を育む「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭」を開催します。

出石永楽館木戸前広場の整備、但馬国分寺の史跡公園化の基本設計、神美台スポーツ公園等の整備を進めます。

市政の運営

豊岡地域では、玄武洞公園を中心とした山陰海岸ジオパーク、ラムサール条約登録湿地、コウノトリ野生復帰などの取り組みを強く情報発信します。

城崎地域では、インバウンドや城崎温泉活性化対策事業、「城崎温泉2020年への道計画事業」の支援を行い、「ゆかたビレッジ」を発信します。

竹野地域では、参加体験型・滞在型観光や「竹野浜地域再生拠点等プロジェクト支援事業」の推進、「仲田光成記念全

国かな書展」の開催、「三原谷の川の風まつり」等の支援を

行います。

日高地域では、神鍋高原に各種スポーツ大会や合宿を誘致し、スポーツのメッカ・観光スポットとして振興を図り、兵庫神鍋高原マラソン全国大会を開催します。

出石地域では、出石永楽館や伊藤清永美術館を活用して、文化の向上と活性化を図ります。伝統的建造物群保存地区保存事業などを進めます。

但東地域では、たんとう花公園将来構想やグリーンツーリズムの受入態勢整備の調査研究、空き家利活用の取組みを支援します。

名誉市民については、平成26年度中の条例制定に向けて検討委員会を設置します。

第3次行政改革大綱・行政改革実施計画に基づき行政改革を推進します。また適正な職員配置、職員の資質向上のための職員派遣を行います。

主要項目

土砂災害危険度判定システム

実績降雨量に基づくシミュレーション結果と実際の土砂災害発生状況等を検証し、システムの精度を上げます。

○生活困窮者自立促進支援モデル事業

東京の豊岡市アンテナショップは、売り上げ・購入者数とも順調に伸びています。

○豊岡地域包括支援センターの民間委託

同センターは、来年4月に民間委託します(統括業務は市が行う予定)。

○大規模太陽光発電事業

平成26年度から本事業の特別会計と基金を設置します。

「カネカ掘ソーラー発電所」が1月に竣工、「コウノトリ但馬空港地場ソーラー」は3月28日に竣工予定です。

○下水道使用料改定

有収水量が減少傾向となり、整備に係る企業債の元利償還が経営を圧迫しているため、下水道使用料を改定します。

○インバウンド事業

外国人観光客は、城崎温泉を中心に毎年大幅に増加しています。さらに誘客するため、旅行博「WTM2014」(イギリス)や「コルマル旅行博SITV2014」(フランス)への出展、海外市場向けインターネット戦略の展開を行います。

○アンテナショップ

東京の豊岡市アンテナショップは、売り上げ・購入者数とも順調に伸びています。

○神鍋温泉ゆとろぎの施設整備事業

(株)高振興公社が指定管理者となり、4月にオープンします。

○温泉施設の入浴料等の改定

竹野北前館誕生の湯・神鍋温泉ゆとろぎ・出石温泉乙女の湯・但東シルク温泉やまびこ・たんたん温泉福寿の湯の入浴料を4月に改定します。

○カーシェアリング事業

観光客の二次交通確保に加え、公用車の効率的な運用促進のために、会員制の自動車共同使用を実施します。

○コウノトリ育む農法の拡大推進

同農法拡大のため、集落まるとの取組促進、雑草対策、水利対策、米の集荷対策を進めます。

○中心市街地活性化事業

観光情報提供や地場産品販売を行う「まちなかステーション」は3月オープン、「トヨオカ カバン アルチザン アベニュー」と菓子をテーマ

とした「豊岡1925」は4月にオープンします。

○北近畿豊岡自動車道

八鹿日高道路は平成28年度供用開始予定。豊岡北・豊岡南間は、平成26年度末に都市計画決定の予定です。

○コウノトリ但馬空港の利用状況

伊丹経由の東京乗継利用は、過去最高ペースで、3月には開港初の年間利用者1万人を達成しました。

東京直行便の実現に向けて、年間利用率70パーセントを目指します。

○豊岡市における幼稚園・保育所のあり方計画進捗状況

「アートチャイルドケア豊岡こうのとりの保育園」は4月に開園。「(仮称)清滝・西気認定こども園」、「(仮称)三方認定こども園」、「(仮称)みえ認定こども園」は来年4月に開園予定。「寺坂・出石幼稚園」(仮称)小坂・小野認定こども園は、それぞれ再編・開園に向けて調整中です。近畿大学豊岡短大の附属幼稚園が「こうのとりの認定こども園」に移行します。

○森本中学校の統合

来々4月1日に竹野中学校と森本中学校を統合することと決定しました。

○城崎国際アートセンター

芸術文化の創造拠点として4月にオープンします。アーティスト・イン・レジデンス第1号として、9月、フランスの女優イレーヌ・ジャコブさんなどが滞在し、平田オリザさんが作品を作ります。

○日本劇作家大会2014豊岡大会

城崎国際アートセンターのキックオフ事業、夢但馬2014関連事業のコア事業として、6月に開催します。

○円山川運動公園の移転整備

現円山川運動公園の遊水地化に伴い、下鶴井に移転する作業を進めています。

○過疎地域戦略プロジェクト

城崎・竹野・但東地域に対し、地域で提案された「過疎地域のやる気・元気の創出事業」を中心に支援します。

○景観重要建造物保存活用検討業務

城崎温泉の木造3階建ての景観を守るため、有識者による検討委員会を設置します。

○地域コミュニティのモデル

地区公民館区域を単位とした、新コミュニティ組織を編成し、地域コミュニティを維持強化します。平成26年度はモデル地区を七つ設定します。

○(仮称)豊岡稽古堂塾

市の将来を担う人材育成のため、官民間わず参加できる学びの場として開講します。

○公共施設マネジメント計画の策定

適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させるために策定します。

○第3次豊岡市行政改革大綱・行政改革実施計画の策定

合併特例終了の平成33年度の財政状況を見据え、取組期間を8年とした行政改革大綱・実施計画を策定します。

○新庁舎建設事業

3月末には全工事が完了します。豊岡市庁舎建設基金条例を廃止し、残金は市債管理基金に積立されます。

○夢但馬2014

但馬・理想の都の祭典20周年事業として、4月から、県や但馬各市町が協力してイベントを実施します。